

## 毒性影響と評価

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 1単位

《担当者名》小林 大祐 (薬学部)  
浜上 尚也 (薬学部) 北浦 廣剛 (薬学部) 佐藤 嗣道 (特別講師)

### 【概要】

化学物質などの生体への有害作用を回避し、適正に使用できるようになるために、化学物質の毒性などに関する基本的事項を修得する。

### 【学修目標】

生体や環境に対して悪影響を及ぼす化学物質、環境因子、放射線、薬物乱用などの実例をもとに、科学的視点で、原因、結果、対策、予防といった観点から概説し、討論できることを目標とする。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。